

県政調査計画書

平成27年10月9日

県議会議長 土井 りゅうすけ 殿

会派名 県政会神奈川県議会議員団

団長名 相原 高広 

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 馬場 学郎 (団員) 高橋 延幸 池田 東一郎
2 調査目的	人口減少対策、農林水産業振興、地域振興について先進的な取組を行っている事例を調査することにより、本県における今後の施策の推進に資する。
3 調査期間	平成27年11月25日～11月27日
4 調査地	島根県、鳥取県
5 調査項目	(1) 人口減少対策及び地域振興策 島根県における人口減少対策及び松江市美保関地区地域活性化協議会の取組を調査することにより、本県の人口減少対策及び地域振興策の推進に資する。 (2) 医師確保対策 島根県における医師確保対策の取組を調査することにより、本県の医師確保対策の推進に資する。 (3) 農林水産業の振興 ① 鳥取県における農林水産業の振興策を調査することにより、本県における農林水産業の振興策の推進に資する。



	<p>② 鳥取県における県産品のブランド戦略(食のみやこ推進策)を調査することにより、本県の県産品のブランド戦略の推進に資する。</p> <p>③ 鳥取県倉吉市において、観光や果樹の振興を図る拠点として整備された鳥取二十世紀梨記念館を調査することにより、本県の関連産業振興施策の推進に資する。</p> <p>(4) 鳥取県立図書館の取組 ビジネス支援サービスや市町立図書館、学校図書館等との連携などの先進的な優れた取組が評価され、全国の都道府県・市町立図書館の中で最も高い評価を受けている(平成18年『Library of The Year2006』受賞)鳥取県立図書館を調査することにより、本県の施策の推進に資する。</p>
6 経費の概算額	<p>一人当たりの議員経費 …………… 115,190円</p> <p style="padding-left: 100px;">内訳 交通費 78,590円</p> <p style="padding-left: 100px;">宿泊費 33,000円</p> <p style="padding-left: 100px;">日 当 3,600円</p> <p style="padding-left: 100px;">合 計 115,190円</p>

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	11月25日 (水)	■島根県 松江市	午前 午後	航空機 公共交通 機関等	(羽田空港→米子空港) ■松江市美保関地区地域活性化協 議会 ・しまね田舎ツーリズムについて 〈松江市内泊〉
2	11月26日 (木)	■島根県 松江市 ■鳥取県 ・倉吉市 ・鳥取市	午前 午後	公共交通 機関等	■島根県庁 ・人口減少対策について ・医師確保対策について ■鳥取二十世紀梨記念館 ・県立鳥取二十世紀梨記念館の取 組について ■鳥取県庁 ・農林水産業振興策について 〈鳥取市内泊〉
3	11月27日 (金)	■鳥取県 鳥取市	午前 午後	公共交通 機関等 航空機	■鳥取県立図書館の取組について ■鳥取県庁 ・食のみやこ推進策について (鳥取空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 馬 場 学 郎 (団 員) 高 橋 延 幸 池 田 東 一 郎
---------	--

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は115,190円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日は1箇所以上、その他の日は午前及び午後それぞれ1箇所ずつ調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島根県では、人口減少対策を重点施策として進めており、UI ターン体験事業などの定住推進策、「しまね田舎ツーリズム」などの地域振興策など、全県をあげて取り組んでいる。 また、離島を含む多くの中山間地を抱えていることから、早くから医師確保対策を進めており、地域医療の担い手となる医師を「呼ぶ・育てる・助ける」取組を進めている。 ・ 鳥取県では、県内の特産物の魅力を体験する県立施設として、鳥取二十世紀梨記念館等を運営するとともに、農林水産物のブランド戦略を推進するため、「食のみやこ戦略チーム」を設置し、県産品のブランド戦略の構築及び推進に取り組んでいる。また、全国的にその活動が注目される鳥取県立図書館では先進的な活動を行っている。 以上の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。

区 分	所 見
<p>② 調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県においても、県西部や三浦半島地域では人口が減少に転じており、全県でも2030年をピークに人口減少していくことが見込まれ、その対策が中長期的な重要課題となっている。こうした中で、鳥取県における先進事例を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県においても、医師不足が顕在化しており、医師確保対策についても重要課題となっており、鳥取県における取組を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県においても、農林水産物を「かながわブランド」として推進する取組を強化しており、果樹及び観光の振興を図る鳥取二十世紀梨記念館を運営するとともに、全国に向けてブランドプロジェクトを積極的に発信している鳥取県の事例を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県では、川崎図書館など県立図書館の再編整備について検討を進めており、ビジネス支援など先進的な取組をしている鳥取県立図書館における事例を調査することは、時宜を得たものである。
<p>③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>人口減少対策・地域活性化、医師確保対策、農林水産物の振興、県立図書館の独自の取組など、今後の本県における施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き現場職員から事業内容やその成果について具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>